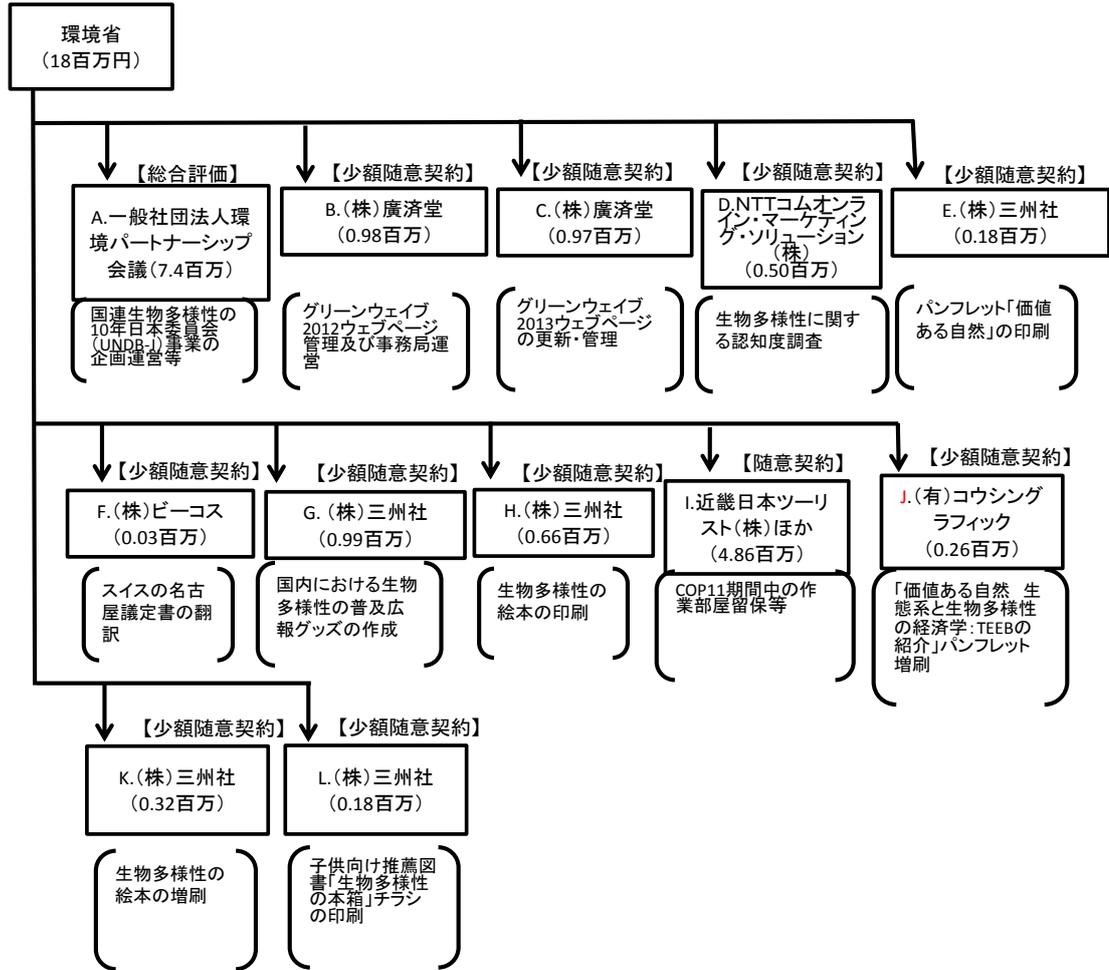


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	「国連生物多様性の10年」推進事業費		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度～		<b>担当課室</b>	生物多様性施策推進室		<b>室長</b>	堀上 勝		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	生物多様性基本法第21条及び第24条		<b>関係する計画、 通知等</b>	生物多様性条約・愛知目標 国連総会決議65/161					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	国連では愛知目標の実現に向けた取組を強化するため、2011年から2020年までの10年間で「国連生物多様性の10年」と定めており、また、日本はCOP10議長国として、COP10の成果である愛知目標の実現に率先して取り組んでいくことが国際的に求められている。愛知目標を実現するためには、国内のあらゆるセクターや地域が参画・連携し、継続的に取り組んでいくことが必須であるため、国内の主要なセクターの参画を得た「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」を設立し、各セクターの取組やセクター間の連携を促進するとともに、各取組の進捗状況を評価・検証し、国内外に発信することで愛知目標の実現を着実に推進していく。								
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	○国内の主要なセクターの参画を得た「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」の活動等を通じ、各セクター間の連携を促進しつつ、各年度においてトピックとなるテーマに関する事業を実施・促進する。 ○国連生物多様性の10年や生物多様性に関するわが国の取組について普及啓発を行うための資料・広報ツール等を制作する。 ○COP11にて国連生物多様性の10年や生物多様性に関するわが国の取組を発信する。								
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	-	59	21	21	17		
		補正予算	-	0	0	0			
		繰越し等	-	0	0	0			
	計	-	59	21	21	17			
	執行額	-	62	18					
執行率(%)	-	105	86						
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)		
	国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)の活動を中心として、各セクターが取り組むべき課題とその進捗状況や、手薄となっている分野等を明らかにしつつ、愛知目標の効果的・効率的な達成を図る事業であるため、定量的な成果目標を示すことはできない。			成果実績	-	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込		
	国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)の活動を中心として、各セクターが取り組むべき課題とその進捗状況や、手薄となっている分野等を明らかにしつつ、愛知目標の効果的・効率的な達成を図る事業であるため、定量的な活動指標を示すことはできない。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	
<b>単位当たり コスト</b>	-		算出根拠	-					
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	21	17	一部事業の要求見送りによる。					
	計	21	17						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「国連生物多様性の10年」は愛知目標の実現に向けた取組を強化するために国連が定めたものであり、政府はCOP10議長国として率先して取り組んでいくことが国内的・国際的に求められている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	規定手続きに従って支出先が選定されており、競争性の確保、コスト削減が図られた。資金の流れ、費目・用途についても、規定手続きに従って適切に実施された。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	生物多様性地域セミナーを計4回開催したほか、ウェブサイトやパンフレット等による情報発信を行うなど、愛知目標の実現に向け、波及効果が高まるよう各種事業を推進しているところ。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者とは綿密な連絡を取り、随時必要な調整を行った上で、適正な執行がなされるように確認に努めている。また、必要に応じ職員が現地出張し、事業進捗や内容の把握を行い、事業実施に必要な監督・助言を行っている。成果物については報告書を精査し、当該事業の実施結果及び用途の確認を行っている。</li> <li>・愛知目標の実現に率先して取り組んでいくことが国際的に求められているところであり、「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」の活動等を通じ、波及効果が高まるよう各種事業を推進している。</li> </ul>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業全体の抜本的改善	事業の最終目標を明確にし、実施方法と予算額の検討を行うこと。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	愛知目標の達成に向け、当面は本委員会を通じ、籍に就いた各連携事業を支援し、2015年の中間評価までに成果を上げることとする。また、そのために必要最小限の予算に絞り込んで予算要求することとし、一部事業の予算要求を見送ることとする。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	23'新-008	平成24年	160

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

※その他、会議費、消耗品費等 0.48百万円

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.一般社団法人環境パートナーシップ会議					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		3.9			
雑役務費	ホームページ更新・制作等	1.6			
旅費	セミナー等旅費	0.4			
諸謝金	講師、出演者謝金	0.3			
その他	パネルの制作、セミナー配布資料等	0.3			
通信運搬費	チラシ等の発送、着ぐるみ運搬	0.2			
借損料	セミナー会場借料	0.1			
印刷製本費	チラシ、報告書の作成	0.1			
一般管理費		0.1			
消費税		0.4			
計		7.4	計		0
I.近畿日本ツーリスト(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	作業部屋等借り上げ代金	2.6			
計		2.6	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人環境パートナーシップ会議	国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)事業の企画運営等	7.4	3	92%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)廣済堂	グリーンウェイブ2012ウェブページ管理及び事務局運営	0.98	少額随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)廣済堂	グリーンウェイブ2013ウェブページの更新・管理	0.97	少額随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション(株)	生物多様性に関する認知度調査	0.50	少額随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	パンフレット「価値ある自然」の印刷	0.18	少額随意契約	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ピーコス	スイスの名古屋議定書の翻訳	0.03	少額随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	国内における生物多様性の普及広報グッズの作成	0.99	少額随意契約	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	生物多様性の絵本の印刷	0.66	少額随意契約	-

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿日本ツーリスト(株)	COP11期間中の作業部屋等留保	2.6	随意契約	-
2	(株)サイマル・インターナショナル	COP11閣僚級会合等における通訳業務	2.0	不調に伴う 随意契約	-
3	近畿日本ツーリスト(株)	COP11期間中の作業部屋留保	0.24	少額随意契約	-
4	(株)アイ・エス・エス	COP11閣僚級会合等における翻訳業務	0.02	少額随意契約	-

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)コウシングラフィック	「価値ある自然 生態系と生物多様性の経済学: TEEBの紹介」パンフレット増刷	0.26	少額随意契約	-

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	生物多様性の絵本の増刷	0.32	少額随意契約	-

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	子供向け推薦図書「生物多様性の本箱」チラシの印刷	0.18	少額随意契約	-